

おおたき こうすけ 市議会レター

< 2024年第3回定例会 >

一般質問 9/9 (火) 13:15~14:15 実施

質問の内容、市の回答を掲載しました。

○「支線1号」 対応急ぐ

北子安、陽光台を結ぶ都市計画道路

1. 発生土の受け入れ先 (約 38,000 m³)
2. 平成 30 年、地権者の協力で用地買収完了
3. 歩行者、車両等利用状況の交通量調査実施

*用地取得後、計画が止まったまま。進捗、今後を確認。発生土のマッチングシステム提案。

9月11日(木)他1日。交通量調査実施

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを
目指して」地域の抱える問題へ着手。

「対話」「チャレンジ」を活動の支え

< 誰もが安心して暮らせるまちづくり >

○「指定避難所」 不安による利用増加

1. 貞元地区に第1・2指定避難所なし
第3・4避難所 貞元コミセン、貞元小、旧上湯江保育園
2. 最寄りの避難所「生涯学習交流センター」
3. 台風7号(8月16日避難所開設)

11施設 60名利用 *貞元地区 4世帯4名利用

*避難指示が出ても、小糸川を渡り、避難所に向かう市民が不安を抱えないよう、地域の避難所の開設を求めています。
自主的に開設する千葉市「地域避難施設認定制度」を紹介

○「シティープロモーション」 まちが好き

地域の認知度向上、ブランド力向上で関係人口増加
地域の魅力をさらに知ること「住んでいてよさそう、そう
思えるような場所にする目的がある。

1. 魅力発信でまちに「行ってみたい」増
*ふるさと納税 約3億2000万(5年度)
2. きみつに住んでよかったと思う人 増
3. 君津ファンクラブ269名(市内外より)

*小学生の学校での「町探検」。地元の人が
廃校の利活用施設を利用する仕組みを紹介。

○交通事故死ゼロを目指す日：9月30日に認定

(内閣府 平成20年1月) 普及、周知

本市：昨年の倍の痛ましい事故増加により6月16~25日「交
通死亡事故多発警報」発令。

*9月28日には本市メールにて「交通事故死ゼロを目指す
日」事故防止の周知を実施。

「みなさんと井戸端会議」 開催

10月12日(土)南子安コミセン
11月4日(月祝)北子安自治会館
11月中 空師青年館

日頃の思いを伝え合える機会
事前申し込み不要

スポーツで「むすぶ」

○「内みのわ運動公園リニューアル」

「小糸川右岸ジョギングコース整備」

市民の期待高まる、待ち遠しい

1. プール解体に向け、事業者決め、公募設
置等指針を作成中(現在)
2. 太陽電池発電施設は、防災機能と有用である
と認識している。
3. 社会福祉施設も占用許可を受けて設置し
ている自治体もある。(保育園、障がい者施設等)

*アーバンスポーツの利用、夏でも遊べ
る公園、ボール遊びができる公園の提案

日本一子育てが楽しいと思えるまちづくり

○「保育士流出に歯止めを」 独自支援策を

*待機児童：第1希望に入所できず、第2,3希望の入園を断
った場合、含まれない。(認可外保育園入所も含まれない)

1. 保育士不足が希望保育園に入れない要因。
2. 隠れ待機児童：全国で71,000人
3. 保育士不足は、自治体間、他業種との格差
*都会への流出(手当・待遇の充実、家賃手当等)
4. 県内54市町村アンケート「保育士への独自支援制度
を設けている自治体」24市町あり。

君津市は設けていない。

*待機児童が過去最少になる一方、国の課題「保育の
質」向上。こども家庭庁は保育士への研修や新たなモ
デルの開発を急ぐ。

*保育士流出を防ぐため、処遇・研修費の助成、独自
の支援策を提案。千葉県で推奨する魅力ある自然保育
を本市で広く展開を提案。(現在、普及型1園)

○認知症に関する相談窓口 早期発見

市内4つの包括支援センター647件の相談。認知機能の低下
の初期、徘徊行動の高まり。要支援2, 要介護1の認定サロン、
体操等助け合いサービス開始(現在5団体)、認知症サポーター

○外出しやすい環境づくり 外出支援

高齢者の買い物支援、移動販売や買い物代行支援に民間事業
者と連携して取り組む

2024年10月1日

No.4

おおたき こうすけ

後援会

君津市空師在住

電話 090-7063-2835

討議資料

